

山 岳 遭 難 発 生 状 況

(令和7年1月1日～令和7年12月7日)
地域部 山岳安全対策課

1 山岳遭難発生状況

区 分	発生件数	死 者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計
令 和 7 年	354	49	5	170	164	388
令 和 6 年	312	48	3	140	148	339
前 年 同 期 比	42	1	2	30	16	49

2 山域別発生状況

区 分		件 数	件数比率	死 者	行方不明	負 傷 者	無事救出	遭難者計
北 ア	槍穂高	68	19.2%	10	0	34	30	74
	後立山	87	24.6%	8	1	38	56	103
	その他	56	15.8%	1	0	36	25	62
計		211	59.6%	19	1	108	111	239
中央アルプス		24	6.8%	6	1	10	9	26
南アルプス		12	3.4%	0	2	8	2	12
八ヶ岳連峰		38	10.7%	5	0	21	13	39
その他の山岳		69	19.5%	19	1	23	29	72
計		354		49	5	170	164	388

3 態様別発生状況

区 分	件 数	件数比率	死 者	行方不明	負 傷 者	無事救出	遭難者計
転・滑落	94	26.6%	28	0	68	0	96
転 倒	89	25.1%	1	0	88	0	89
病 気	28	7.9%	8	0	0	20	28
道 迷 い	33	9.3%	0	0	0	50	50
落 石	7	2.0%	0	0	7	0	7
雪 崩	2	0.6%	1	0	1	1	3
落 雷	0	0.0%	0	0	0	0	0
疲労凍死傷	58	16.4%	2	0	0	60	62
不明・他	43	12.1%	9	5	6	33	53
計	354		49	5	170	164	388

4 男女別・年齢別比率

区 分	男 性					(人) 比率	女 性					(人) 比率	男女計	
	死者	不明	負傷	無事	計		死者	不明	負傷	無事	計		人数	比率
1 9 歳以下	0	0	0	7	7	46 17.1%	0	0	1	0	1	18 15.1%	8	64 16.5%
2 0 代	1	0	4	18	23		0	0	1	5	6		29	
3 0 代	4	1	4	7	16		0	0	3	8	11		27	
4 0 代	5	1	13	15	34	87 32.3%	1	0	16	3	20	47 39.5%	54	134 34.5%
5 0 代	7	0	22	24	53	136	1	0	20	6	27	54	99	190
6 0 代	10	2	31	26	69	50.6%	0	0	22	8	30	54	99	190
7 0 以上	20	1	18	28	67		0	0	15	9	24	45.4%	91	49.0%
計	47	5	92	125	269		2	0	78	39	119		388	
比 率	69.3%						30.7%							

(※ 比率の計は、小数点の調整上、一致しない場合あり。)

先週の発生（12/1～12/7）

日付	場所	性別	年齢	死傷別	態様	概要
12月2日	南アルプス 仙丈ヶ岳	男	40	無事救出	疲労	単独で柏木登山口から入山し、地藏尾根コースを登山中、疲労により、行動不能

山岳安全対策課からのアドバイス

先週県内では、1件の山岳遭難が発生しました。

状況は、単独で仙丈ヶ岳に向けて登山中、疲労により行動不能となり、一晩ビバークし、翌日ヘリコプターによって救助されました。

冬山で遭難した場合、状況によっては救助されるまで、時間がかかることがあります。その間、遭難者本人や同行者は現場で風雪と寒さに耐えながら、救助を待たなければなりません。冬山に入山する以上、遭難のリスクは誰にもあるものです。リスクを十分に理解した上で、万全に準備を行い、入山することが求められます。

万が一のアクシデントに備え、防寒着やビバーク装備を必ず携行し、登山計画の段階から、積雪を考慮した余裕のある日程と冬山に対応できる装備を携行しましょう。